

# 富山県高岡市

## 中心市街地活性化基本計画

【4期計画：令和4年4月～令和9年3月】

【目指す中心市街地の都市像】

『人が輝き、人で輝く、人が主体の賑わいづくり』  
～まちなかりスタート！南北一体化による交流シンカを目指して～

【高岡市の概要】 人口：168,390人(R3.3.31・住民基本台帳)、面積：209.57km<sup>2</sup>

奈良時代に越中国府が置かれ大伴家持が赴任。江戸時代に加賀前田家2代目当主前田利長公が高岡城築城。商工業を中心とする商人のまちとして発展。

### 【中心市街地の課題等】

#### 1) まちなか回遊性の不足

##### ① 商業核の消失(百貨店撤退)による集客力の低下

令和元年8月に中心市街地の中核に位置する複合商業施設「御旅屋セリオ」から百貨店が撤退。テナント誘致のほか、子育て支援施設や行政機能の一部移転等の取組みを進めているが、集客力の回復には至っていない。

##### ② 北陸新幹線開業効果の減少

北陸新幹線開業から新高岡駅の拠点性や認知度は高まったものの、新高岡駅を起点とした広域周遊観光の中で、高岡の魅力を十分に伝えきれていない。

#### 2) 中心商店街に求められる機能の変化

##### ① 生活サービス機能の充実(「ハレ」から「ケ」への転換)

郊外大型店の拡張、ロードサイドのスーパー、ドラッグストアの競合、電子商取引の急速な拡大など、商業環境の変化に伴い、まちに訪れる目的も変化している一方、近年はマンション建設が進み、居住者の日用品を求める声は大きい。

##### ② 遊休資産を活かした新たな価値の創造

商店街の店舗兼住宅がシャッターを閉めて居住化が進む一方、空き店舗を活用した新規開業は飲食店を中心に少しずつ増えている。

### 【中心市街地活性化の方針】

#### 【基本方針①】 多様な目的で人が行き交い、交流するまち

新幹線時代における交流・交通結節機能を活かし、教育、業務、医療など県西部地域における中心的役割を持つ交流拠点として、充実した都市インフラに加え、本市の特色でもある歴史・文化など魅力を活かした、行きたくなるまちづくりに努めるとともに、商機能と多様な交流の機会を設け「賑わい」を創出していく。

→ 目標：交流人口の拡大

全80事業

【主要観光施設における観光入込客数】

【中心市街地・観光地周辺(6地点)における平日・休日の歩行者・自転車通行量の平均値】

#### 【基本方針②】 新たなチャレンジとライフスタイルを楽しむまち

少子高齢化への対応、行政コスト低減なども踏まえた、住みたくなるまちづくりをするため、民間活力と連動した、官民一体によるまちづくりを推進することで、多様性(ダイバーシティ)を許容するまちを目指す。

→ 目標：まちなか居住と生活サービス・事業創出機能の充実

全28事業

【中心市街地における居住人口の社会増減数】

【中心市街地・観光地周辺における新規開業件数】

### 【新計画目標】

| 目標                      | 目標指標                                     | 基準値(推計値)                | 目標値                 |
|-------------------------|--|-------------------------|---------------------|
| 交流人口の拡大                 | 主要観光施設における観光入込客数                         | 351,000人<br>(H30)       | 375,500人<br>(R8)    |
|                         | 中心市街地・観光地周辺(6地点)における平日・休日の歩行者・自転車通行量の平均値 | 14,425人/日<br>(R1)       | 15,000人/日<br>(R8)   |
| まちなか居住と生活サービス・事業創出機能の充実 | 中心市街地における居住人口の社会増減数                      | 50人減(1年間)<br>(H28-R2平均) | ±0人(5年間)<br>(R4-R8) |
|                         | 中心市街地・観光地周辺における新規開業件数                    | 57件(4年間)<br>(H29-R2)    | 60件(5年間)<br>(R4-R8) |

### 【前期計画目標】

| 基準値                         | 目標値                    | 最新値                     | 参考値                |
|-----------------------------|------------------------|-------------------------|--------------------|
| 447,000人<br>(H27)           | 528,000人<br>(R3)       | 137,192人(R2)<br>【未達成】   | 351,106人<br>(R1)   |
| 16,670人/日<br>(H27)          | 17,670人/日<br>(R3)      | 10,149人/日(R2)<br>【未達成】  | 14,425人/日<br>(R1)  |
| 33人減(1年間)<br>(H27.10-H28.9) | 600人増(5年間)<br>(H29-R3) | 212人減少(H29-R2)<br>【未達成】 | 208人減少<br>(H29-R1) |
| 39件(5年間)<br>(H23-27)        | 50件(5年間)<br>(H29-R3)   | 57件(H29-R2)<br>【達成】     | 40件<br>(H29-R1)    |

# 高岡市中心市街地活性化基本計画の事業概要

中心市街地人口: 13,918人(令和3年3月末現在)

中心市街地面積: 約340ha

⑤

従来の重点区域

新計画から追加予定の区域

エリア内全体で  
実施する事業

②③④⑤

● 歩行者通行量計測地点

## 多様な目的で人が行き交い、交流するまち 【交流人口の拡大】

### ②リノベーションまちづくり事業

増加傾向が著しい空き家、空き店舗等の遊休資産について、民間活力によるリノベーションや新しい使い方による「街のコンテンツ」創造を実施し、来街機会と賑わいの創出を図る。

大型複合ビル「御旅屋セリオ」周辺(エリア)の特徴とこれを好むファンを絞り込み、そのファン層に対し集中的に資本(時間、予算、人員等)を投下する「御旅屋エリアビジョン」に基づく施策を展開する。

### ③(仮称)歩いて楽しいまちづくり事業

コンパクト・アンド・ネットワークによる持続可能な都市構造を確立するため、都市機能や居住機能の充実に加え、自動車に過度に依存しない、ウォークブルシティの実現、歩いて楽しいまちづくりを実践する。

### ⑥セリオタウン推進事業

御旅屋セリオを中心市街地の中核とし、市民が集う場所「セリオタウン」として賑わいを創出すべく、オタヤ開発(株)や経済界と新たなテナント誘致を実施し、御旅屋セリオへの公益的機能の導入やイベント実施など多様な人が多様な目的を持って訪れる場づくりを進める。



## 新たなチャレンジとライフスタイルを楽しむまち【まちなか居住と生活サービス・事業創出機能の充実】

### ①高岡駅前東地区整備事業

商業・業務施設・住宅等が混在した市街地で、老朽ビルや木造家屋、空地等の低未利用地も多く存在していた当該地区において、再開発事業や面的整備などの都市基盤整備によって街区が賑わいの核となるよう、民間活力により、専門学校やホテル、マンション等を整備するもの。

### ④たかおか暮らし支援事業

新築、中古の住宅及び新築マンション取得、隣地取得、隣地建物除去、耐震改修、断熱改修、三世帯同居改修の一部を支援する。

### ⑤賑わい集積開業等支援事業

空き店舗の取得または賃借、空き地の取得や店舗建設等によって小売り・サービス業等を出店される方に対して支援を行う。

